

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	慢性腎臓病患者における血清シスタチンC濃度測定の臨床的な有用性に関する後ろ向き研究		
1. 研究の目的と方法	腎臓の機能を調べる際、日常の診療では血液中のクレアチニンという成分を測定し、腎臓の機能を推測します。近年、クレアチニンとは別の物質である、血液中のシスタチンCを測定することで、より正確に腎臓の機能を推測できることがわかってきました。しかし、各腎臓病において、シスタチンCによる腎臓の機能の推測が、その後の腎臓や生命の予後とどのように関係しているかは、わかっていません。そのためこの研究では、患者さんの診療録から腎生検時に測定された、シスタチンCの値を集積し、その後の腎機能や経過との関連を明らかにすることを目的とします。さらに、シスタチンCとクレアチニンとの物質の性質の違いを利用して、体の筋肉量や腎臓のフィルター機能に関しても推測できることがわかってきました。この研究では、腎臓の機能に加えて、腎生検時の筋肉量や腎臓のフィルターの障害についても詳しく調べることを目指しています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院を腎生検施行目的で入院した患者さんで、2022年6月1日～2024年4月30日の間に腎生検が施行された18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査）、腎生検病理検査結果	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科
		氏名	横尾 隆
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 坪井 伸夫	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年7月頃～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 研究責任者：教授 横尾 隆（よこお たかし） 窓口担当者：助教 野林 大幹（のばやし ひろき） 助教 神崎 剛（かんざき ごう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3221） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。